

施策評価調書(28年度実績)

施策コード Ⅲ-2-(3)

政策体系	施策名	文化財・伝統文化の保存・活用・継承	所管部局名	教育庁	長期総合計画頁	153
	政策名	芸術文化による創造県おおいの推進	関係部局名	教育庁		

【Ⅰ. 主な取り組み】

取組No.	①	②	③
取組項目	文化財・伝統文化の保存	文化財・伝統文化の活用	文化財・伝統文化の継承

【Ⅱ. 目標指標】

指 標	関連する取組No.	基準値		28年度			31年度	36年度	目標達成度(%)				
		年度	基準値	目標値	実績値	達成度	目標値	目標値	25	50	75	100	125
i 国・県指定の文化財数(件)	①	H26	894	905	906	100.1%	920	945					
ii 県立歴史博物館・県立先哲史料館・埋蔵文化財センターの利用者数(万人)	③	H26	10.1	10.2	11.36	111.4%	11.3	11.5					

【Ⅲ. 指標による評価】

評価	理 由 等			平均評価
i 達成	地域に受け継がれてきた文化財の新たな指定や登録を推進したことにより、目標値を達成した。			達成
ii 達成	歴史博物館・先哲史料館・埋蔵文化財センターにおいて、展示内容の充実や広報活動に努めたことにより、目標値を達成した。			

【IV. 指標以外の観点からの評価】

取組 No.	指標以外の観点からの評価
①	・日本遺産の認定に向け、国・県指定文化財を整備(4件)するとともに、市町村をつなぐ文化・伝統のストーリー化による地域再発見を推進した。
②	・日田祇園の曳山行事が「山・鉦・屋台行事」としてユネスコ無形遺産に登録されたことを記念して、県立美術館と連携して展示会を開催したことにより、日本遺産である咸宜園を有する日田市の魅力を発信した。
③	・特別展開催前の新聞紙面における連載特集やフェイスブックでの積極的な情報発信により、歴史博物館の利用者が前年度より12,712人増加するなど、文化財・伝統文化に親しむ機会や理解を深める機会を提供することができた。

【V. 施策を構成する主要事業】

取組 No.	事業名(28年度事業)	事業コスト(千円)	事務事業評価		主要な施策の成果掲載頁
			総合評価	29年度の方向性	
①②	日本遺産認定推進事業	37,736	A	継続・見直し	226
③	特別展開催事業	15,634	A	継続・見直し	227

【VI. 施策に対する意見・提言】

<p>○第2回大分県日本遺産推進協議会(H28.10)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県は市町村の調整だけでなく、積極的にストーリー作成に関わることが望ましい。 ・これまでに市町村から出された、耶馬溪・キリシタン・国東半島荘園村落・竹田の水と石のみならず、磨崖仏や温泉など、ストーリー化の素材となる魅力的な文化財はまだ多数ある。 	
---	--

【VII. 総合評価と今後の施策展開について】

総合評価	施策展開の具体的内容
A	<ul style="list-style-type: none"> ・文化財・伝統文化が将来世代に確実に引き継がれていくよう、引き続き指定・登録制度を活用し、適切に保存・管理する体制づくりを推進する。 ・日本遺産認定に向けて文化財・伝統文化をストーリー化し、広域的に連携して活用する市町村の取り組みを引き続き支援することで、地域活性化につながる新たな観光素材の創出や郷土愛の醸成を図る。 ・地域の人々の精神的拠り所でもある伝統芸能への理解を促進するため、各種補助制度を活用して用具等の新調を支援するとともに、発表機会等の充実を図る。 ・新しくオープンした埋蔵文化財センターを活用し、歴史・文化の魅力を発信することによって、文化財や伝統文化の保存に対する一層の理解の浸透を図る。 ・各種広報番組や教育庁チャンネル等を活用し、文化財・伝統文化についての積極的な情報発信を行う。 ・歴史博物館や埋蔵文化財センター、国や大学の研究機関等との連携により、職員の文化財の修復・保存に関する技術のスキルアップを図る。